

2016年末手当第1回交渉 組合側が要求趣旨を説明!

**3.4ヶ月分(年間臨給・6.27ヶ月)要求!**

連結純利益(予想)2,660億円、現場の努力に報いよ!

#### <要求内容>

1. 2016年度年末手当は、基準内賃金の3.4箇月分を12月2日までに支払うこと
2. 成績率の適用については、公平・公正に行うこと
3. 好調な企業業績を踏まえ、安全・サービス・人材育成に更なる投資を行うこと

#### 組合側

- ・第2四半期(発表)でも連結決算の純利益は当初予測どおり2,660億円が見込まれている。新幹線大規模改修引当金繰入による費用増はあるものの、水平分業・業務の効率化による人件費等の圧縮など社員は日々業務に邁進している。設備投資、株主還元、債務削減の3本柱に加え、社員の働きがいの実現を求める。
- ・12/2の支払い要求、12月になって早々の支払いを抱える社員が大勢いる。1日でも安心して支払いが出来るように社員を安心させることも大切。
- ・JRグループとしての労働条件を大きな目で考える必要を感じます。会社として前向きに考えていくべきである。

#### 会社側

- ・JRに成ってまもなく30年、終わりのない成長戦略を引き続き行っていく。
- ・平成24年に導入した、新人事賃金制度を大局的に観ながら世間の相場と乖離するような対応は控えたい。真摯に議論し速やかな妥結を目指している。

#### 最後に組合として

- ・当社の継続的な発展が必要。JRグループが持続的な発展をするためにはJR本体がグループを牽引していく必要がある。意識、モチベーションを高めることが生産性の向上に繋がる。
- ・年末手当の交渉について、社員が納得でき、更なるやる気を引き出せる満額回答を要求する。